



愛車とともに訪れた小笠原選手に市長も期待大！

8月15日 突き進むライダー 世界の舞台へ

2006 <sup>EMT B</sup> <sup>エムティービー</sup> 世界選手権への出場を決めた神戸町出身のマウンテンバイクプロライダー・小笠原崇裕選手が、その報告に市長を訪れました。小笠原選手が本格的にマウンテンバイクを始めたのは高校生のころから。現在、険しい山道などを走るレースで、世界を舞台に活躍中です。当面の目標は2008年に開かれる北京オリンピックへ出場することと話す小笠原選手。今後もさらなる活躍が期待されます。

# TTCN

■たはらしティニュース / TaharaCityNews

7月>>8月



消火器の操作方法を熱心に学ぶ堀切地区の皆さん

7月23日 地域で協力 津波・地震への備え

地震発生時、津波による被害が心配される堀切地区で、津波対策訓練が実施されました。東海・東南海地震が発生し、大津波警報が発令されたとの想定で始まったこの訓練。堀切地区の皆さんは、経路を確認しながらそれぞれの一次避難場所に避難しました。その後は堀切市民館に集合し、消火器操作訓練や起震車体験などにより、津波に限らず、いつ発生するかわからない大地震に備える気持ちを新たにしました。



難度の高い技を決め優勝したブライソン選手(南アフリカ)

8月6日 大技の連続 観衆をくぎづけに

7月31日(月)~8月6日(日)の7日間、赤羽根大石海岸(ロングビーチ)を舞台に、サーフィン世界大会2006 <sup>A.S.P WQS</sup> <sup>エーエスピー ダブルユーエス シックススター タハラ プロ</sup> が開催されました。海外選手を中心にプロサーファー232人が参加したこの大会。世界レベルのテクニックが観られるとあって、期間中に訪れた観衆は延べ4万人を超えました。5日(土)には選手と市民がふれあうイベントなども行われ、競技観戦以外にも盛り上がりを見せました。